

## 第 217 回広島大学平和センター研究会

### 「The U.K. Nuclear Legacy」を開催

日時：2018 年 10 月 5 日（金）15：00～17：30

場所：広島大学東千田キャンパス東千田未来創生センターRoom3-1

広島大学平和センターでは 10 月 5 日、「UK Nuclear Legacy」を共通テーマとして、イギリスのオープン大学 William Nuttall 教授を基調講演者として招き、第 217 回広島大学平和センター研究会を開催いたしました。Nuttall 教授はマサチューセッツ工科大学（MIT）で物理学の Ph.D.を取得したのち、ケンブリッジ大学などで教鞭を長年とるかたわら、長年にわたってイギリスのエネルギー、環境、核を中心とした科学技術政策に関する研究を行ってきた研究者です。Nuttall 教授には、イギリスで量産化が頓挫した爆撃機に関する歴史的経緯と、英国民の間で抱かれる科学技術の持つ象徴性についてお話いただきました。

Nuttall 教授の基調講演の後、当センターの友次晋介准教授が「British Atoms for Peace Overseas」と題して報告を行いました。友次准教授は英連邦や勢力圏の紐帯を維持することを目的としてイギリスが戦後に行っていた民生原子力利用協力に関して報告しました。両報告の後、フロアーとの間に活発な議論がなされました。